はじめに（本資料の説明）

【広島県】

本資料は、令和元年度「北方領土青少年等現地視察支援事業」に参加した○○○○○○○○中学校の生徒が学級の仲間に「北方領土問題」について共に考えてもらうことを目指して、指導する教諭と共同開発しようとした指導案（簡易）である。指導案に「教員からのアドバイス」とあるのはそのことによるためである。

なお、本資料を使用しての生徒による授業は、コロナウイルス感染の拡大による臨時休業等の影響を受け、実際には実施できていない。　　【広島県北方領土問題教育者会議】

№特別編　領土問題

本時の目標：領土問題について知り、北方領土返還について考える。

一、領土問題と聞いて思い浮かぶ外国の国があると思います。

＜国旗＞

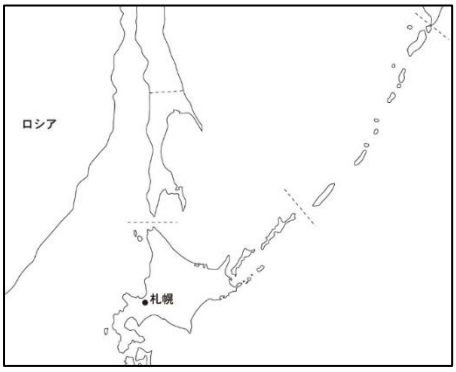
＜国名＞

＜なぜその国を選んだ？＞

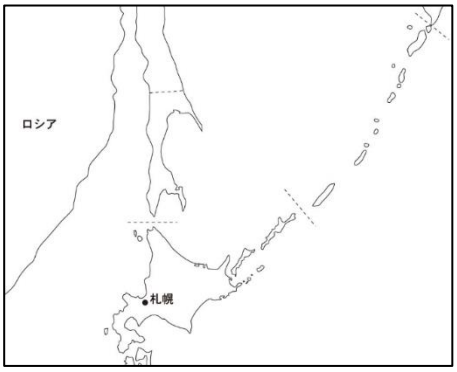
二、どのような問題？

三、歴史的背景　色塗りしてみよう。

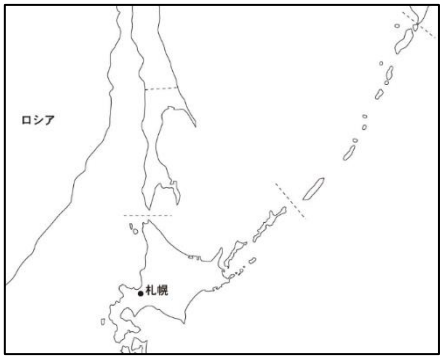
①日露和親条約（１８５５）



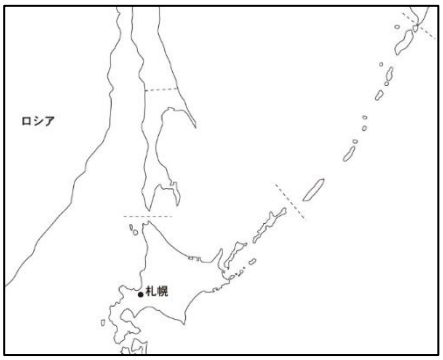
②樺太・千島交換条約



③ポーツマス条約



④現在



四、不法占領の背景　（板書）

五、返還を求める都市の紹介

※スライドにて紹介

六、今、自分にできることとは？